



報道機関各位

公益財団法人 日本障害者スキー連盟
2023年12月26日

～世界最速のパラアルペンレーサーが札幌に集結！～

2024 トヨタ FIS パラアルペンスキー ワールドカップ 札幌大会

2024年2月10日(土)～15日(木) @サッポロテイネスキー場(札幌市)

公益財団法人日本障害者スキー連盟は、「2024 トヨタ FIS パラアルペンスキー ワールドカップ 札幌大会」を、2024年2月10日土曜日より同月15日木曜日まで札幌市手稲区のサッポロテイネスキー場にて開催いたします。開催概要につきまして、お知らせいたします。

ぜひ、報道関係の皆様には本大会を取材していただき、パラアルペンスキーの魅力を伝えていただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

詳しい取材案内は1月中旬に改めてご案内いたします。

記

大会名称：2024 トヨタ FIS パラアルペンスキー ワールドカップ 札幌大会

大会日程：2024年2月10日(土)～15日(木)

会場：サッポロテイネスキー場 札幌オリンピック女子大回転コース
(札幌市手稲区手稲本町593)

実施種目：大回転2レース、回転3レース ※観戦無料

2月10日(土)：GS(大回転)男女1レース目

2月11日(日)：GS(大回転)男女2レース目

2月13日(火)：SL(回転)男女1レース目

2月14日(水)：SL(回転)男女2レース目

2月15日(木)：SL(回転)男女3レース目

出場国・選手数(予定)：17カ国 60名

主催：国際スキー&スノーボード連盟(FIS)、公益財団法人日本障害者スキー連盟(JPS)

主管：公益財団法人日本障害者スキー連盟(JPS)

2024 トヨタ FIS パラアルペンスキー ワールドカップ 札幌大会 実行委員会

協力：札幌市、(公財)全日本スキー連盟、(公財)北海道スキー連盟、(公財)札幌スキー連盟、北海道障害者スキー連盟、札幌障害者スキー協会、加森観光株式会社、北海道武蔵女子短期大学

特別協賛：トヨタ自動車株式会社



[FIS パラアルペンスキー ワールドカップと 2024 年 2 月の札幌大会について]

■本大会の位置づけ

本大会は、FIS が主催し、毎年 11 月末から 3 月にかけて世界約 10 会場をツアー方式で転戦する「FIS パラアルペンスキー ワールドカップ」の公式戦のひとつです。2024 年 2 月に札幌で開催される大回転競技 2 日間（男子・女子ともに 2 戦開催）、回転競技 3 日間（男子・女子ともに 3 戦開催）を当連盟が主催します。なお、日本におけるパラアルペンスキー ワールドカップの開催は 2017 年の白馬大会（長野県白馬村）以来になります。

■FIS ワールドカップについて

スキー界において「ワールドカップ」は、4 年ごとの冬季オリンピック・パラリンピックや 2 年ごとに開催される世界選手権と同等または、それ以上の権威と栄誉が存在する大会です。選手たちはシーズンを通して、世界の開催地を転戦しながらレースに出場し、成績に応じてワールドカップポイントを獲得します。そして、シーズンを通して最も良い成績を取めた選手は年間総合チャンピオンとして表彰されます。ワンデイレースでチャンピオンを決める冬季オリパラやスキー世界選手権とはまた違う大きな尊敬を集めます。

FIS パラアルペンスキー ワールドカップで開催される種目は、滑降、スーパー大回転、大回転、回転、アルペン複合の 5 種目です。札幌大会では、大回転と回転を実施します。

■競技会場について

本大会では、1972 年札幌オリンピックの女子大回転が行われた「オリンピック女子大回転コース」が使用されます。最大斜度は 34° で、世界的にも高度なスキー技術が要求されるバーンとして評価されており、ヨーロッパや北米の競技会場に勝るとも劣らないエキサイティングなレースとなります。斜面変化などのコースレイアウトや雪質を的確に把握し、アグレッシブにコースを攻められるかが勝負の分かれ目です。

■海外トップ選手の参加、日本選手の活躍への期待

日本選手では、2022 北京の冬季パラリンピックで銅メダルを獲得した森井大輝選手（トヨタ自動車所属）が 2011-12 シーズン、2015-16 シーズン、2016-17 シーズンにワールドカップ年間総合優勝に輝いています。また、女子では、2022 北京の冬季パラリンピックで合計 4 つの金メダルを獲得している村岡桃佳選手※（トヨタ自動車所属）が 2018-19 シーズンのワールドカップ総合チャンピオンになるなど、日本は、ワールドカップで常に世界トップを競う、実力を有する強豪国の一つです。

この度の札幌大会においては、日本代表選手の好成績が大いに期待されるとともに、パラリンピック金メダリストを始めとする海外トップ選手の滑りを、間近に見られる貴重な機会となります。



■障害カテゴリーについて

本大会には、身体に障害のある選手が出場します。選手たちは、障害と滑りの特性に基づき、男女がそれぞれ立位、座位、視覚障害の3つのカテゴリーに分かれて競い、表彰をうけます。各カテゴリーの概要は以下のとおりです。

立位（スタンディングカテゴリー）

上肢や下肢に障害があり、選手によっては、ストックなし、1本のスキーで滑走、義足を使って滑る等、障害によって滑り方もさまざまです。また、先端が板の形をしたアウトリガーを使う選手もいます。

座位（シッティングカテゴリー）

下肢に障害がある選手のカテゴリー。どの選手もフレームとシート、サスペンションからなる「チェアスキー」に乗って滑走します。

視覚障害（ビジュアルインペアメントカテゴリー）

視覚に障害のある選手が、前を滑るガイドスキーヤーの声や発する音を頼りに滑走します。表彰では、ガイドスキーヤーも選手と同様に表彰されます。

※1 FISは国際スキー&スノーボード連盟（仏語：Fédération Internationale de Ski et de Snowboard）からの略称表記

※2 村岡桃佳選手はパラ陸上競技に専念するため、2023-24シーズンのFISパラアルペンスキーワールドカップには出場しません。あらかじめご了承ください。お知らせします。

<本件報道に関するお問い合わせ先>

2024 トヨタ FIS パラアルペンスキー ワールドカップ 札幌大会 実行委員会
広報窓口

jpn-worldcup-media@jps-ski.com

担当：若林 090-6133-2352

隅野 090-1548-9671